

在京花巻人

発行 在京花巻人会
連絡事務所

東京都中央区東日本橋
3-5-9 市川ビル3階
電話 03-6661-1925

新年ごあいさつ



花巻市長 上田 東一



新年あけましておめでとございます。ふるさと花巻より、在京花巻人会の皆様にご挨拶を申し上げます。平素より本市に対し、格別のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年、25年にわたり在京花巻人会の会長を務められた瀬川紘一様が退任され、そのご功績が認められ、令和7年度花巻市市勢功労者として表彰されました。長年にわたる花巻市の発展と会員相互の交流などのご尽力に対し、あらためて深く敬意

を表するとともに、心より感謝申し上げます。

2025年を振り返り

ますと、本市ゆかりの方々が国内外で目覚ましい活躍を遂げられました。メジャーリーグ・菊池雄星選手、大谷翔平選手の大活躍、花巻北高校弓道部の全国選抜大会優勝など、若い世代の力強い活躍は大きな希望となり、市民に夢と誇りを与えてくださいました。また、花巻市出身の作家・阿部曉子さんの小説『カフネ』が本屋大賞を受賞し、花巻の文化的魅力が全国に広く発信されました。

市政では、「第2次花巻市まちづくり総合計画」の2年目を迎え、人口減少対策に取り組むとともに、「魅力あふれるまち」「強く優しいまち」の実現を目指し、JRR花

巻駅の自由通路整備、新花巻図書館の整備計画、北上川流域の観光資源を活用した「花巻地区かわまちづくり計画」事業などの各種施策を推進しております。

私事ではございますが、来る2月4日をもって市長の職を退任いたします。3期12年にわたる皆さまとの親交は私にとってかけがえのない時間であり、温かいご支援とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。花巻の未来を見据え、多くの課題に向き合いながら市政に取組み、まちの変化を実感できたことは大きな喜びであり誇りでもあります。ふるさと花巻がさらに豊かで住みよい場所となるよう、引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。結びに、在京花巻人会のさらなるご発展と、会員の皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

年頭所感



在京花巻人会

会長 畠山 真



謹んで年頭のご祝詞を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃より在京花巻人会の活動にご理解、ご協力を頂きお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年の七月五日に第三十九回目の「在京花巻人のつどい」を開催し、盛会のもとに終えることができました。これもひとえに会員の皆様、花巻市からわざわざ来て頂いた上田市長はじめ来賓の方々への支えのおかげと感謝致しております。

今年は、七月四日(土)に開催を予定しています。記念すべき四十回目の「つどい」を多くの会員の皆様と来賓の方々を

お迎えし、盛大に開催したいと考えております。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今年は、午年であります

が駿馬のように走り抜けるのも時には重要ですが、一年をじっくりと歩むことも大切だと思います。徳川家康の言葉に「人の一生は、重荷を背負って遠く道を行くが如し急ぐべからず」とあり、私が人生を歩んできた中で常に頭に置いていた言葉です。人生急いでも仕方がない、回り道をしてでもしっかりと歩んで行くことが肝要と考えます。在京花巻人会もしっかりと足元を見据えて歩んで行きたいと思っております。

昨年は、花巻出身の方、花巻にゆかりのある方の活躍が目を引きました。大谷翔平選手は、大リーグのナ・リーグ優勝決定シリーズでは投打で異次元の活躍をし各新聞の一面を飾りました。他にも菊池雄星投手、佐々木朗希投手も大活躍しま

令和8年度 「第40回在京花巻人のつどい」 のお知らせ

日時：令和8年7月4日(土)11:30~14:30
会場：東京ガーデンパレス
住所：東京都文京区湯島1-7-5
電話：03-3813-6211
アクセス：JR御茶ノ水駅 聖橋口 徒歩5分

した。花巻東高校の野球部も東北大会で優勝し選抜出場を確実にしました。さらに、花巻北高校出身で花巻市在住の阿部暁子さんが「カフネ」で本屋大賞を取りました。その他、花巻や岩手県出身の方が様々な活躍を示してくれました。

花巻物産展でも、平塚、浅草、銀河プラザ、東京都庁と行きました。花巻の物産はともて人気があります。それだけ花巻の物産には魅力があるものと実感しました。

今年こそ世界の平和を願い、皆様と一緒に一歩一歩進んで参りたいと思っております。

会員の活動報告コーナー

北千住マルイにて

『いわて・花巻

フェア』が開催

副会長 梅津豊

2024年11月26日(水)〜12月2日(火)、乗降客数全国5位、143万人/日が利用する北千住駅、そのマルイ2階催事場にて今年で5回目の『いわて・花巻フェア』が開催されました。花巻の魅力が一杯の特産品の販売と“ポケマルふるさと納税マルシェ”が開催されました。

伺った日は29日で肉の日/白金豚、マルカンの大谷翔平コーナー、大迫のワイン、花巻産の米を使った地ビール、東和のリンゴ、石鳥谷の農園カフェなどずつと愛されている商品から新しい花巻の特産品まで様々な商品がマルイに勢ぞろい、購入するお客様でいつまでも賑わっていました。

主な出展社は以下の通り
(株)エーデルワイン／0120-08-30037
大迫菓子センター／0198-48-3429
佐々長醸造(株)／0120-18-3310
(有)押切食品／0198-23-2040
(株)オリオンベーカ

都庁「花巻観光物産展」を訪ねて

昨年10月22日から28日まで、東京都庁第一庁舎の「全国観光PRコーナー」で開催された「花巻観光物産展」に二日目の10/23に買い物に行ってきました。15時という



リ／0198-24-0222
ブリュービースト／0198-41-4614
(株)上町家守舎(マルカン)／0198-29-5588
花巻せんべい工房／0198-22-0383
タカハシ菓子工房／0198-24-3066
高源精麦(株)／0198-22-2811
南部平野農園／080-4124-5678
やえはた自然農園／0198-46-9606

中途半端な時間でしたが、都庁に用事があつて立ち寄ったのでしようか、結構お客さんが入っており、花巻の商品の人氣が高いことが伺われました。飲むヨーグルト、温泉アンパン、白金豚など、品数も多く訪れた人達は次々に様々な商品を買っていました。

花巻観光協会の小田島さんのお話では、都庁の職員の方々が昼休みや終業後にどつと買い物に訪れるとのことでしたが、15時ころでも結構人が入っていたので、それは容易に想像出来ました。ちょうど帰りに人を訪ねる予定があつたので、お土産にお気に入りのよだかの星の箱入りを2つ買つて帰りました。

会場の入り口のコーナーには赤と青の花巻傘が飾っており、岩手・花巻の鹿踊のポスターと良くマッチしており、独特の情緒を醸し出している人々の視線を集めていました。

(編集部)



「第30回歩こう会」に参加して
東京の南部藩江戸屋敷を巡る

理事 鎌田澄江

令和7年10月18日(土)に第30回となる「歩こう会」が開催されました。テーマは南部藩江戸屋敷、下屋敷跡地から上屋敷跡地までの道を歩くということで、日比谷線広尾駅集合、23名の参加で全行程5キロの歩こう会が晴天の中、スタートしました。

広尾駅を出るとすぐ有栖川宮記念公園があり、ここが江戸時代は盛岡藩南部家の下屋敷跡。前半はアップダウンのきつい坂の多いコース。南部坂、ドイツ連邦共和国大使館、天眞寺、麻布署盛岡交番、狐坂、長玄寺、狸坂、暗闇坂、麻布十番商店街、アオイスタジオ、狸穴坂と坂また坂。前半でへたばつてしまいました。

心に残つたのは長玄寺にあるラグーザお玉の石碑で、お玉は絵心があつて、イタリアから工部美術学校彫刻科教授として来日していたラグーザと結婚、イタリアパレルモにラグーザが開いた美術学校の副校長として、美術教育に人生を捧げました。夫の死後帰国し、生涯を閉じましたが、彼女の功績を称えた石碑が建

てられました。明治の初めにイタリアに渡つて活躍した女性がいたことに感動しました。

前半でエネルギーを消費してしまい、歩こう会の列は同じ団体とは思えないほどバラバラに。ロシア大使館、西久保八幡神社、虎ノ門ヒルズ、文科省そしてゴールは日比谷公園でここは盛岡藩南部家上屋敷跡地、楽しい旅でしたがあたりはもう薄暗くなっていました。



歌って笑って若返る！ 第5回カラオケ会

兼忘年会

担当理事 高橋勉

12月13日(土)、神田の「カラオケマック」にて第5回カラオケ会兼忘年会を開催、会員・非会員あわせて14名が参加、



午後2時から6時間大いに盛り上がりました。会は畠山会長の挨拶と乾杯でスタート、全員で今年一年を振り返り色々な会話を楽しみ、いよいよカラオケタイム。トップバッター及川さんの「あの鐘を鳴らすのはあなた」を皮切りに、望月さんの「勝手にしやがれ」と戸来さんの「ヘイ・ジュード」で全員熱狂、高橋良光さんの「新潟ブルース」は渋い歌声でした。

中盤、鎌田さんが青いドレス姿で駆けつけ、「達いたくて逢いたくて」をご披露し割れんばかりの拍手。三上さんが「学生時代」を歌い、「若い人は知らないだろう」との声に「ここには若い人がいないから大丈夫！」というツッコミも。しかし、戸来さんが「リトル・グリー・モンスター」の曲を披露するなど、皆様気持ちは青春そのもの。ぜひ、2026年こそカラオケ会にご参加ください。

「2025いしどりや
フェスタTOKYO」
に参加して

副会長 高橋 良光

11月1日(土)石鳥谷町人会の総会・親睦交流会が上野精養軒で行われ、花巻人から畠山会長以下3名が出席しました。出席者は172人と多く、花巻市からの来賓やコミュニティセンターの役員、神楽保存会、テールを飾った吊るし雛を作った方々の参加もあり盛大な会でした。

総会は高橋会長による挨拶で開始、議題の諸案件が滞りなく承認されました。続いて八重樫和彦副市長、内館桂副議長の祝辞を賜りましたが、熊の出没で大変とのことでした。

親睦交流会は北寺稻荷神楽の御神楽奉納で始まり、乾杯は中村弘樹商工会議所石鳥谷支部会長の音頭でした。テーブルには北寺の酒一升瓶がどーんと置いて有り、この酒で乾杯しましたがさすが酒蔵のある町と思えました。アトラクションは同神楽で下舞、権現舞を奉納、ロス・ポラーチョスのアンデス音楽で盛り上げました。最後は恒例の抽選会、最高の賞品は米

5kgでした。大いに盛り上がった会で、来年もまたふる里の匂いにする集いの開催を楽しみにしています。



「第47回在京東和町友会の集い」に参加して

参加して

昨年11月9日(日)、御茶ノ水のガーデンパレスで「第47回在京東和町友会集い」が開催され参加してきました。

11時30分、鎌田澄江幹事の司会のもと鎌田節郎会長の主催者代表挨拶で集いがスタートしました。続いて鎌田議長が議長となり総会の議事が審議され、滞りなく全議題が承認されました。

総会終了後、親睦交流会に入り花巻市八重樫和彦副市長が来賓の挨拶、市議会の内館桂副議長が

ら祝辞がありました。内館副議長は東和出身で映画「おいしい給食炎の修学旅行」の田瀬での撮影のお話など、地元の話題を披露していました。

在京石鳥谷町友会高橋弘美会長の乾杯の発声で懇談がスタート、早速アトラクションのボランの会の朗読があり、演目は宮沢賢治の「注文の多い料理店」でした。次にJA花巻の東和支店長の菅原鉄也さん、取締役岩手日報東京支社長の菅原智弘さんのスピーチがあり、最後は、全員で「北国の春」を歌ってお開きとなりました。

(編集部)



令和7年度

「北上ふるさと会の集い」

に参加して

副会長 佐々木 健一
昨年11月8日(土) 午

前11時30分より、御茶ノ水の東京ガーデンパレスで開催され、花巻人からは畠山会長と私が初参加しました。

まず総会は、菅野副会長の挨拶で始まりましたが、渡邊嘉二郎会長が体調不良で欠席のため、引き続き菅野副会長が会長挨拶を代読しました。続いて八重樫浩文市長より市政報告が行われ、「クマ」被害の各省庁への対応要望、市民武道館の完成、いわて半導体関連人材育成施設開所、などの説明がありました。

懇談会に入る前に、「昔語りへの誘い」と題して北上民話研究会の方々による「びっくり」「無筆の手紙」の口演があり、北上の昔の方言に皆さん静かに聞き入っていました。

懇親会では、中村商工会議所副会頭の音頭で乾杯、続くアトラクションで二子流東京鬼剣舞が披露されました。恒例の演舞なので、毎回演目を変えているとのことでした。

その後は抽選会があり、最後は全員で「北上夜曲」と「そんな街、北上」を唄い、「北上おでんせ」の踊りで会場を回り盛り上がり、閉会となりました。



「第39回紫波町ふるさと会のつどい」に参加して

参加して

副会長 多田 善利

11月16日、畠山会長と出席しました。紫波町からは熊谷町長、武田議長のほか多数の議員さん方も参加されました。直前に鷹嘴誠一会長がご逝去され、総会冒頭で黙とうが捧げられ、会長代行・阿部副会長の挨拶で開会となり、新役員選任等全議案が可決されました。来賓挨拶では、皆さんが熊の被害について触れられ、町民の生活に大きな影を落としている深刻な実態が窺われました。続いて懇親会に入り、アトラクションは紅白歌

合戦で石川さゆりさんのバック演奏も務めた篠笛・能管奏者の山田路子さん。岩手民謡から美空ひばりメドレーと、ハイスピードの指使いによる演奏を楽しみました。

富岡紫波町商工会長の乾杯で懇親会が始まると一気に親睦ムードが高まり、会員の太田泰さん作成の紙芝居「渋沢栄一物語」も上演されました。冷酒にワイン、古里の生ジュース等を堪能し、大いに懇親を深めました。中には「ありやあ、せば、おめさん親戚でねーが」等と仲良く盛り上げる光景も目にし、仲々に意義深い集いと感じました次第です。



《はなまき あれこれ》

令和6年度「イーハトーブ花巻応援寄付金」について

花巻市へのふるさと納税による寄付は、令和6年度は約55万件で総額約84億2574万円でした。前年度の90億円は下回りましたが、全国14位（前年度13位）でした。市では、返礼品や手数料などの事務経費を除いた金額をまちづくりに関する様々な事業に活用しています。

市では、八つの使い道を設定しており、寄付者は希望する使い道を選んで寄付します。その中で一番金額が多いのが「市長におまかせ」で約40億円、「子育て・人づくり分野」が約14億円、「仕事分野」が約10億円、「暮らしの分野」と「健康・いのち分野」

がともに約6億円などとなっています。

具体的な使い道としては、「商店街賑わいづくり事業」約4,500万円、「感染症予防対策事業」約2億9,000万円、「企業誘致推進事業」約2億円、「公園整備事業」2,700万円、「不妊治療支援事業」700万円などとなっています。

なお、令和5年度から「イーハトーブ花巻応援基金」を設置、当該年度に活用出来なかった分を基金に積み立てていますが、令和6年度の基金積立額は17億5千万円でした。

（広報はなまき8/15号より）

「花巻地区かわまちづくり計画」が国交省支援制度に登録

「かわまちづくり」とは、河川とまち空間を融合し、賑わいのある空間形成を目指す取り組みです。国交省がこの取り組みを支援する制度が「かわまちづくり支援制度」ですが、昨年8月、銀河大橋から花巻南大橋の北上川の河川空間を活用した「花巻市かわまちづくり計画」がこの支援制度に登録されました。

この計画は、賢治ゆかりの歴史や観光施設がある北上川周辺を活用し、観光や教育資源により地域の価値を高めるために、市が国交省の支援を得てハード整備を行うもの。その一つが「階段護岸整備」で、イベントなどの観客席としての利用と堤防の機能効

果向上が期待されます。又、川下りのスタート地点である銀河大橋付近には船着き場を整備、イギリス海岸周辺では段差が大きい階段護岸を小さいもの

に改良、トイレの洋式化や案内板の整備も行います。

また、賢治の「下の畑」付近に船着き場を整備し川下りの途中下車を可能とするなど、各種イベント展開のための様々な整備も計画に入っています。

（広報はなまき9/1号より）



「階段護岸整備」のイメージ

大迫高校 市が存続に向けて新入生獲得の支援策

県立大迫高校は、募集定員は1学年40人ですが、現在1年生が14人、2年生が12人、3年生が24人と全校で50名にとどまっています。県教育委員会は存続には1学年20名以上が必要としており、入学志願者が2年連続で20人以下となった場合には原則翌年度から募集停止と定めています。同校はこの基準にひっかかっており、何とか1年間は猶予されたものの、存続するには今春の入試で21人以上集めることが必須条件となっています。

そこで市は、「希望すれば大学にも進学できる高校」

をアピールするため、生徒が通う塾や通信教育費など年間上限60万円を全額補助するとともに、「進学コーディネーター」も配置する計画で、その他、制服半額補助、通学支援、各種検定試験や模試の半額補助、3食付き学生寮などの支援策を打ち出しています。

全国から生徒を募集する「地域みらい留学」にも力を入れ、既に9人が県外から入学していますが、市の高校存続のための応援が功を奏することを期待したいと思います。

（朝日新聞9/8夕刊より）

「第35回宮沢賢治賞・イーハトーブ賞」受賞者決定

宮沢賢治賞は優れた研究・評論・創作に贈られ、イーハトーブ賞は賢治の精神を体現する実践的な活動に送られる賞です。「宮沢賢治学会イーハトーブセンター」による厳正な審査の結果、第35回の宮沢賢治賞には加倉井厚夫さん、同イーハトーブ賞には瀬川正子さんの受賞が決まりました。

加倉井厚夫さんは、ブログサイト「賢治の事務所」を主宰、自身のエッセイや論考、併せて賢治の多彩な情報を発信し続けた業績が評価されました。瀬川正子さんは、藤原嘉藤治が開拓した紫波町山麓に園

芸施設を開設、嘉藤治を偲ぶイベントを開催したほか、関連書籍の刊行や賢治文学の研究活動が評価されました。

なお、宮沢賢治奨励賞は、弱者へのやさしさを現代的に表した小説「銀河の図書館」の作者の名取佐和子さん、そして天文学の見地からの賢治関連の著書のある谷口義明さんが受賞しました。

（広報はなまき9/1号より）



瀬川正子さん

加倉井厚夫さん

「花巻まつり」 昨年も豪華絢爛に開催

昨年9/12(金)～9/14(日)の三日間、430年以上の歴史を誇る「花巻まつり」が華やかに開催され、11台の豪華絢爛な山車と多くの神輿が参加、中央公園から上町に続く会場は多くの観客で賑わいました。

花巻まつりは例年雨がつきもので今年も心配されましたが、雨は中日の13日(土)の午後だけ、神輿パレードが20分ほど早められ、又、鹿踊の演舞が路上から「まなび学園」に変更されました。

初日の神楽権現舞パレードに続いて夕刻に演じられた「かがり火鹿踊」は、今回も観客を大いに魅了

していました。

14日の最終日は、午後花巻まつり実行委員長の挨拶の後、約500人の踊り手による花巻ばやし踊りが華やかに繰り広げられました。大手締めの後、8時から山車と神輿の最後の自由運行があり、山車と神輿の参加者は名残惜しそうに9時が過ぎても立ち去りませんでした。

(岩手日報、ネットなどより)



映画「おいしい給食 炎の修学旅行」花巻で撮影

「おいしい給食」は、2019年放映のテレビシリーズ。2020年に劇場用が制作され、今回の「おいしい給食 炎の修学旅行」はその第4弾。給食マニアの教師と生徒がどちらがよりおいしく食べられるかというバトルを繰り広げる学園グルメコメディ。今回の撮影は花巻の藤三旅館、宮沢賢治記念館、田瀬振興センター(旧田瀬中学)が舞台として選ばれ、わんこそばを食べるシーンなども撮影され、花巻が大いにフィーチャーされました。

10/24の公開に先立ち、9/28には花巻文化会館

で先行上映会が開催されました。主演の市原隼人さんをはじめ綾部監督らが登壇、トークショーなども行われ大いに盛り上がり、上映後には上田花巻市長から記念品が贈られました。28日には同じ映画関係者が東和中学校を訪問、体育館で全校生徒と交流、給食会なども行われました。



(花巻市SNSなどより)

花巻東、東北大会を制し来春の甲子園選抜大会へ

秋季高校野球岩手大会の決勝戦で一関学院を11対3で破って3年ぶり12回目の優勝を飾った花巻東高校は、岩手第一代表として10月13日から始まった東北大会に臨みました。

各県から3チーム計18チームが参加する東北大会は、岩手のきたぎんボールパークと花巻球場で開催。花巻東は2回戦で山形の鶴岡東を7対0、3回戦の準々決勝は青森の八戸工大一に4対3で勝利し準決勝に進みました。準決勝の相手は宮城2位の東北高校、東北からの甲子園選抜出場は3チームでこれに勝てば出場確実となる一戦でしたが、見事に4対1

で勝利し来春の選抜出場を確実にしました。

決勝戦は10月17日、青森1位の八戸学院光星と花巻球場で対戦、赤間投手から萬谷投手への継投で3対2の逆転勝利、地元で4年ぶり2回目の優勝と明治神宮大会への出場を勝ち取りました。神宮大会では崇徳に勝利、しかし準決勝で九国大付に敗れ今回はベスト4どまりでした。

(岩手日報他から)



<花巻出身の先人を偲ぶ>「ヒロシマ1945写真展」と菊池俊吉カメラマン

昨年5月31日～8月17日、東京都写真美術館で開催された「被爆80年企画 ヒロシマ1945」展に、御田屋町出身の菊池俊吉カメラマンの写真が展示されました。

同展は、1945年8月6日、原子爆弾によって焦土と化した直後の広島を、自ら被爆しながら歩いたカメラマンにより撮られた写真展です。提供者は、各新聞社・通信社のカメラマンと林重雄、菊池俊吉など。貴重な170枚以上の写真が展示され、その中に「菊池俊吉が記録した人間」のコーナーがあり、37点の写真が展示されました。

菊池俊吉(1916～1990)は、「原子爆弾災害調

査研究特別委員会」に同行するカメラマンとして原爆投下から約2か月後広島入り、病院などを回り被爆者の傷や放射線による急性症状を撮りました。その写真は、医学的記録であり、再建へ苦闘する市民や街の復興の記録でもあります。

菊池さんは、戦後は「中央公論」などのグラビア頁を担当し活躍しますが、広島での被爆が原因なのか1990年に白血病で74歳の生涯を終えています。

(編集部)





〈花巻人シリーズ 最終回〉

「真臣乳と亮次郎」

瀬川 紘一

(3) 真臣乳の信仰

①内村鑑三からの手紙
真臣乳は、生涯を通じて内村から33通の手紙を受け取っています。その手紙は真臣乳が送った「カベツ」や「百合根」などへのお礼がほとんどですが、そこには内村の深い愛情が感じられます。信仰の道をひたすら歩み始めた真臣乳でしたが、神と対峙し福音による救済を求める決意をした内村にとっては、真臣乳の生き方に共感するものがあつたのでしょつ。

昭和4年11月15日、内村が亡くなる4か月前に真臣乳に出した最後の手紙がそのことを物語っています。

「君が北上河畔に一生を終ることを君のために賀します。…中略…所に一生止まりてキリストの証明さえすれば黙々の間に大伝道が行われま

す。君は神に特に恵まれた人であると言わざるを得ません。是はお世辞ではありません、真理であります。」

まさに新約聖書の「汝等は地の塩なり」を彷彿とさせます。倫理的ピューリタンとして生きた真臣乳ですが、「倫理」の語源は慣れ親しんだ場所を意味する「エートス」で、そこには「自分が今いる



40代後半の亮次郎

場所でのように生きるかという問い」が含まれます。そしてこの内村の最後の手紙は、一生涯花巻を離れなかった宮沢賢治を想起させるのです。

②真臣乳と宮沢賢治
真臣乳は小学校で賢治の担任を務め、次男の謹二郎は花巻農学校の賢治の教え子で親子共々賢治と関わりを持ちますが、特に真臣乳の存在はその後も賢治に少なからぬ影響を与えたように思えます。

新保祐司はその著書「明治の光・内村鑑三」で、賢治の「詩ノート」の「1049 基督再臨」が内村の再臨運動を想起させるとし、また、「度十公園林」は内村の著書「フンマルク国の話」からヒントを得たのではと推測、その影響を指摘します。内村は明治36年以降計4度花巻を訪れていますが、賢治には直接会っていないとされています。

しかし、賢治が身近な斎藤宗次郎や真臣乳から、そして彼らを通して内村から、少なからぬ影響を受けたと考えるのが自然でしよつ。

又、内村鑑三について

多くの著作のある山本泰次郎は、「雨ニモマケズ」のモデルは宗次郎であるとしていますが、新保祐司は自著で「しかし賢治の『サウイフモノ』のイメージ形成の中に、斎藤の他に真臣乳の人間像もあつたのではないか」と書きます。確かにその斎藤自身も、その著書「懐かしき親好」で、昭和14年に真臣乳に賢治の詩碑を案内された際に、「…老先生(真臣乳)は全文を一字一句誦読された。玄米四合ではないが少量の粥と胡麻塩を摂って淳朴の生活に公務に励み、二十人近き大家族を護らるゝ老先生」と書いています。まるで「雨ニモマケズ」の詩をなぞっているように感じるので

す。

5 照井亮次郎の事績を辿る

亮次郎の事績は、川路賢一郎の著書「シエラマドレの熱風」でほぼ語り尽くされていますが、この著書を踏まえた上で若干の新たな視点と分析を加えてみます。

(1)メキシコ殖民という

夢！亮次郎を駆り立てたもの！

明治24年(1891)、17歳の亮次郎は宮城農学校に入学します。3年後の明治27年に卒業しますが、翌年には1年志願兵として軍役に就き、除隊後の翌明治30年3月にはメキシコに旅立ちます。このように、亮次郎は宮城農学校入学から一気にメキシコ殖民を目指すのですが、その背景について考えながら、亮次郎の夢と決意を探ります。

成功させねばと考えたことは容易に想像出来ます。そして宮城農学校時代に抱いた「海外で日本人の子孫を育て、日本人の海外発展の拠点とする」との決意は、後にメキシコで日墨協働会社(メキシコは漢字で墨国)を設立し成功へと導きますが、以下にその経緯を簡単に記します。

(2)出港、そして夢の実現に向かつて

榎本武揚は明治26年には外務大臣を辞任し、日本殖民協会を結成し会長に就任、海外殖民の奨励と振興に取り組みます。

特にメキシコは日本の5.2倍の国土を持ちながら当時の人口は僅か1千万人、海外からの移民による国造りを目指していたことから榎本が注目します。榎本は「日墨拓殖会社」を設立、明治30年に榎本殖民団を募集します。亮次郎は早速宮城農学校の学友高橋熊太郎、太田連一と共に自由移民として応募します。応募の結果、榎本殖民団は草鹿砥寅(一)を監督者に総勢35名、労働契約移民28名、自由移民は亮次郎達を含めて6名となり、



現地で制作された西日辞典（花巻市博物館所蔵）

早くも明治30年（1897）3月24日にはメキシコに向けて横浜を出港することになります。

横浜を出港してから48日目、一行はメキシコの太平洋沿岸最南端の貧弱な

港サンベントに到着、しかし、準備不足や情報不足で上陸早々暑さや疲労などで大きな困難に遭遇します。何とか目的地のエスクイントラに到着しますが、準備や情報不足による困難は行程のみにとどまらず、その後の殖民事業にも及びます。

到着が季節外れで植え付けが出来なかったことに始まり、素人には難しいコーヒー栽培を目指したこと、又、そのため普通作物には適さない山岳

地を取得したことなどから、殖民事業は困難を極めます。結局、榎本移民団はその後3年ほど細々と経営されますが、1901年に終焉を迎えています。

(3)三奥組合設立から日墨協働会社の興亡へ

さて、一攫千金を目指す殖民事業の限界を目的の当たりにした亮次郎は、1899年の初めから1年2ヶ月の間メキシコ各地を巡り、メキシコの国情を学ぶと共に農場の管理人となつて経営を学びます。エスクイントラに帰った亮次郎は、出発前の海外殖民の決意を実現すべく、1901年10月高橋熊太郎など6名で「三奥組合」を立ち上げ

ます。その組織の特色は、「私有財産を認めず、組合員が全財産を供出して営業資本とし、各組合員の衣食住や子弟の教育など必要費はすべて組合から支出する」というもの。

亮次郎は日本人の海外殖民の失敗を検証、又、自らの性格も見極めた結果、異質な人たちが一致協

力し合うことが殖民を成功させるための要諦であるとし、コンミュニ的な組合を組織します。

三奥組合の事業は順調に成長し、3年後の1905年には資本金が当初の10倍、9人だった社員

や配偶者子弟も3倍となります。そこで、目標を生活基盤の構築から殖民としての定着安定を目指すこととし、メキシコの法律に則つて法人化し「日墨協働会社」に格上げします。1906年以降は日墨協働会社の成長期で、牧畜、農業、醸造業、商業などの事業は順調に発展し、1900年代の中南米では最大の日本企業となりました。

かねて殖民事業における教育の重要性を痛感していた亮次郎は、1907年に子弟のためにアウロラ小学校を建設し、日本から教師を招聘し開校します。しかもローマ字を、日本字を学ぶ難しさ

と国際的な有利さから、当時の日本のローマ字国字運動を先取りする形で導入します。後にはローマ字を使用した西日辞典も編纂しています。

その後さらなる成長が

期待されましたが、1910年にメキシコ革命が勃発しその荒波をもろにかぶります。1911年には旧政権下での払い下げを無効とする土地問題が起こると共に暴動・略奪などによる物的損害も発生、さらには第一次大戦勃発による通貨の不安定やインフレなどの困難も重なります。万策尽きた日墨協働会社はついに1920年解散するに至ります。

その後の亮次郎は、革命後のメキシコの独力による発展を期待したのか、体調の衰えもあり静かな余生を送りながら、ロドリゲスクララで薬店を開業し二人の子息の成長を見守ります。そしてメキシコの土地を踏んで33年後の1930年10月、56歳でこの世を去りメキシコの土となりました。

(4)亮次郎のメキシコ殖民の意義

亮次郎のメキシコでの殖民事業には、三つの意義があったと思います。

まずその一つは、亮次郎が導入したコンミュニ

日の問題ある社会組織より一歩進んだ組織法を試みる」と述べているように、極めて革新的な試みでした。亮次郎は自身を社会主義者ではないとしていますが、マルクス主義以前の空想的社会主義者で米国に労働協同村を建設した英人のロバート・オーエン（1771～1858）の影響があつたように感じます。

二つ目は新しい教育への挑戦です。日墨協働会社の社員は全員メキシコ人と婚姻を結んでおり、子弟は日墨の混血でした。亮次郎は「メキシコで生まれ育ち、その文化を理解する2世3世に日本語（ローマ字）で日本の精神文化を教え、両国の架け橋とする」と述べていますが、新しい教育への取り組みにより後世に殖民地の成功を託したので

しょう。

三つめは、日墨友好を貫いたことです。会社の定款に「日墨を二つの祖国として生きること

を決意し、不偏中立に反した場合

革命に対しても、「一国の進展のために革命をもつてするのは自然な方法」と同情的な立場をとりま

す。

各殖民地の日本人に革命による賠償金を請求しないよう説得したのも亮次郎ですが、これが第二次大戦でメキシコが敵対国の日本人に対して寛大な政策を採ることに繋がります。この亮次郎の行動からは、人種差別や排除を良しとしない博愛的精神を感じます。

さらに付け加えるならば、亮次郎は三奥組合結成時「豪州、北米やカナダから排斥された日本は、未だ支那、朝鮮にも碌な足がかりも作りえない」と評しますが、後に日本が満蒙開拓という武力による殖民に突き進んだことを考えると、亮次郎のメキシコ殖民は極めて意義深く、また、移民問題に直面する現代日本にとつても示唆するところが多いように思います。

〈エピソード〉

亮次郎が影響を受けたと思われる「空想的社会主義」は、英国の思想家トーマス・モアの造語「ユートピア」を用いて

ユートピア社会主義とも言われますが、日墨協働会社はまさにユートピアの建設を目指したものであったと思います。真臣乳が信仰によって心の中にユートピアを探し求めたのに対し、亮次郎は現実社会でユートピアを現しようとしたとも言えるでしょう。

ところで、二人から20年ほど遅れて生まれた宮沢賢治も、羅須地人協会によって現実社会でのユートピアの実現を目指しますし、作品の「ポラーノの広場」ではイーハトーブに産業組合というユートピアを描きます。ちなみに、賢治の「度十公園林」の中で、度十が亡くなったから美しい公園林となったことに感謝する手紙やお金が学校に寄せられますが、そこに出てくる「海の向ふに小さな農園を有(も)ったりしている人」は、同じユートピアを目指した亮次郎がそのモデルだったように思われます。

その宮沢賢治は、宗教的精神性と開明的精神性を兼ね備え、科学を信じつつも人間の「生の不条理性からの救い」を心が

ら祈り、さらに「世界全体が幸福にならない限り個人の幸福はあり得ない」として「人類の平和的共存」を願いました。賢治は、この祈りと願いの対象を「ほんたうのさいいい」と表現したのではないのでしょうか。

真臣乳と亮次郎は明治から大正・昭和と生き抜き、人間としてどう生きるべきか、これからの社会はどうあるべきかという問いに生涯をかけて取り組みました。21世紀に生きる私達も、民主主義の不完全さや資本主義の矛盾、加えてグローバルゼーションや気候変動と言った難題の中で、人間としてどう生きるべきか、どのような社会を目指すべきかが問われています。賢治が「ほんたうのさいいい」を求め続けたように、宗教的精神性と開明的精神性の風土の中で育った私達花巻人は、この問いの答えを求め続ける責務があるように思えます。そういう意味で、花巻人として真臣乳と亮次郎の物語は未だ終わっていないのです。

(五)

《お知らせ》

第41回友好都市平塚「花巻の物産と観光展」開催

例年大好評を頂いている平塚市でのイベントです。花巻の郷土色豊かな特産品が、多くの業者の出店によって数多く揃いました。花巻の物産品が当たる抽選会も予定しています。是非お立ち寄り下さい。

日時：令和8年2月20日(金) 23日(月・祝)

10時から18時(最終日は17時まで)

会場：平塚市民プラザ

神奈川県平塚市紅谷18-8(平塚駅西口徒歩4分)

TEL 0463(20)5110

「べんべろの会」花巻で朗読会開催

谷口秀子さんの遺志を継いで賢治作品の朗読会を続ける「べんべろの会」が、地元花巻で朗読会を開催します。花巻の方々にも是非聴いて頂きたく、よろしくお願ひ致します。

日時：令和8年3月15日(日)

13時30分開場、14時開演(〜16時)

開場：宮沢賢治イーハトーブ館ホール

TEL 0198-31-2116

住所：〒025-0014 花巻市高松1-1-1

第6回カラオケ会のお知らせ

第6回のカラオケ会を以下の内容で開催します。奮ってご参加ください。

日時：令和8年3月7日(土) 14時〜

集合場所：JR神田駅南口改札口 13時45分集合

会費：会場とドリンク代で2,200円目標。

※アルコール、つまみ等は会場1階のコンビニで購入、又はご持参下さい。ソフトドリンクはドリンクバー付。

「第30回歩みつ会」アンケート結果の報告

アンケートは12名の参加者より回答を頂きました。

全体的な感想は、満足が4名、やや満足が7名、やや不満が1名でした。また、歩く距離については、とても長い4名、やや長い7名、普通が2名でした。場所、内容、説明については、大変満足が4名、やや満足が6名、普通が2名でした。

全体的には満足、距離はちよつと長すぎたようですが、場所や内容的には満足頂いたようです。ご協力有難うございました。

理事退任…板垣雅子さん



板垣雅子理事は令和7年6月をもって理事を退任されました。板垣さんは、令和14年平塚七夕飾り製作を機に理事に就任、以降会計や会報、さらには名簿管理等の業務を23年間にわたって担当し、大いに会に貢献して頂きました。

瀬川紘一前会長が花巻市市勢功労者表彰を受賞

在京花巻人会の瀬川紘一前会長は、長年にわたり市勢発展に貢献されたとして令和7年度花巻市市勢功労者として表彰されました。同氏は昨年11月3日花巻温泉紅葉館で開催された表彰式に参列、表彰状を授与され受賞者代表として挨拶しました。

会費納入のお願いと納入状況の報告

①令和7年度会費納入のお願い

在京花巻人会は皆様からの会費で「在京花巻人のつどい」や「会報の発行」、様々な会員の親睦交流活動を行っています。

7年度の会費をまだ振込頂いていない方は、会報6月号に同封した振込用紙でお振込みをお願い致します。

在京花巻人会会長 畠山 真

□座名義	在京花巻人会
□座記号番号	00240-6-111794
金 額	3,000円

②7年度の会費納入のお礼と納入状況

今年度の会費納入額は11月現在176名、528,000円です。

会員皆様のご理解とご協力に感謝し、お礼を申し上げます。

会計担当 高橋 良光、千葉 百合子